

臨床研究
「血液関連疾患における Cell Population Data の動向に関する検討」
への参加についての説明文書

秋田赤十字病院 検査部、感染対策室
萱場 広之

当院では、秋田大学大学院医学系研究科 総合診療・検査診断学講座が行っている研究である「血液関連疾患における Cell Population Data の動向に関する検討」に共同研究施設として参加しております。本研究は、秋田大学倫理委員会および秋田赤十字病院倫理委員会の審査を受けて秋田大学 学長ならびに秋田赤十字病院 病院長の許可を受けております。

本研究におきましては患者様の既存の診療録から検査データと基本情報（性別、診断名など）を抽出し、匿名化したうえで研究に用います。情報はすべて匿名化されますので、個人が特定されることはございません。下記に研究の概要をお示しいたします。本研究についてご理解をお願いいたします。本研究は既存データの利用ですので、研究協力の有無によって新たなご負担や不利益、診療内容の変更は発生することはありません。本研究において検査データ・基本情報を利用させていただくことについて、希望しない場合は、別表末尾の連絡先までご連絡ください。

【血液関連疾患における Cell Population Data の動向に関する検討】について

研究の名称	血液関連疾患における Cell Population Data の動向に関する検討
研究の背景	血液検査室では、血液細胞（白血球・赤血球・血小板）の数や白血球分類（好中球・リンパ球・単球・好酸球・好塩基球の各割合）を血球計数装置にて測定しています。近年の測定装置の発達に伴い、より詳細に各白血球の細胞集団を解析することが可能となり、白血球の大きさやその分布などについても分析が可能となってきました。これらのデータは、感染症の重症度判定や治療効果の評価などに応用できる可能性があります。ありますが、まだ研究段階にあり、診療には用いられていません。
研究の目的と方法	【目的】 この研究は主に重症感染症や血液疾患に関して、新たな血液分析装置による測定データと、重症度や治療効果との関連性について解析し、診療に役に立てることを目的とします。 【方法】 診療目的で検査部に提出された血液検体の測定結果を使用し、秋田大学において収集される健常人データと比較します。重症感染症などに罹患された患者さんのデータにつきましては、臨床経過との関連性、従来の感染症関連検査項目との関連、より早く、迅速に、かつ安価に評価ができるかなどについて検討します。
研究代表者	秋田大学大学院医学系研究科 総合診療・検査診断学講座 植木重治
共同研究者	秋田赤十字病院 検査部、感染対策室 萱場広之
研究期間	研究実施許可日から 2026 年 3 月 31 日まで
利用する情報の項目	診断名、性別、臨床的重症度指標、転帰、検査所見では末梢血液検査、特に新たな検査機器に備わる白血球の性状に関する新指標項目、生化学検査など。全て既知の情報を匿名化した状態で活用します。
情報の管理責任者	秋田大学：総合診療・検査診断学講座 植木 重治 秋田赤十字病院：検査部、感染対策室 萱場 広之
情報の活用及び共有・提供を希望しない場合等の連絡窓口	秋田大学：総合診療・検査診断学講座 (代)018-834-1111(内線)2441 秋田赤十字病院：(代)018-829-5000 (内線)2202